

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Panitumumab+mFOLFOX6療法 (infuser pump)
疾患名	大腸癌
診療科名	外科
登録医師名	岩川 和秀
適応	大腸癌

臨床区分

<input type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2012年8月4日
※2025年6月4日改訂	
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	NaCl注射液 100単位/mL注射液 100	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	CVポート		
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
3	生理食塩液 パロプセドロン静注0.75mg デキサメトサド注射液 6.6mg	100 1 1.5	mL 瓶 瓶	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
4	生理食塩液 ペグディピックス点滴静注	100 6	mL mg/kg	点滴静注	側管	60min※	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与終了後1時間は、経過観察すること 経過観察は2回目以降省略可 インラインフィルターを使用すること		
5	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m ²	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時		
6	5%糖液 オキサリプラチン点滴静注液	250 85	mL mg/m ²	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時		
7	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	400 50	mg/m ² mL	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチン終了後 15分以内で投与終了		
8	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	2400 50	mg/m ² mL	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ（46時間） 全量110mLに調製する。		
9	NaCl注射液 100単位/mL注射液 100	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	CVポート		
10																					
11																					
12																					

備考欄
 ※生理食塩液で希釈後の点滴溶液中の本剤の最終濃度は10mg/mLを超えないこと。本剤は、60分以上かけて点滴静注すること。ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。
 改訂内容：ペグディピックス後の経過観察は2回目以降省略可

文献

減量・中止基準

mFOLFOX、FOLFIRIにおいては同レジメンの注意を参照
 <Panitumumab:減量基準>
 Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

皮膚障害の発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与再開の基準	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	6mg/kgまたは4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止	-	-